様式３(2015.06改)

作成日　平成30年10月23日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376600405
事業所名	JA愛知厚生連　あつみの郷グループホーム

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	田原祭りの見物、市民館まつりへの作品展示、商店街への買い物、近隣の散歩等、外出して地域と交流する機会は多い。 認知症カフェの開催も決まり、地域との交流は新たな段階へ進む。 ホームが4階建ての建物の最上階にあることから、地域の住民が日常的に足を運ぶことはない。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	行政、地域、家族、知見者(他法人グループホームの管理者等)と、多彩なメンバーが集まって運営推進会議を開いている。 年間の会議計画で各回のテーマが決まっており、会議の中で、「認知症サポーター養成講座」を開いたり、「回想法」の実地体験等を行ったりしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議に市・高齢福祉課の職員が出席できないことがあるが、必ず地域包括支援センターの職員の参加がある。 今年度、広大な「東三河広域連合」が発足した。新たな連携関係構築の取り組みが始まる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	管理者、職員は、様々な機会を通して利用者、家族の意見・要望を把握しようとしている。利用者等の意見や要望を、PDCAサイクルに沿って支援に役立てている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	